

2011年度 日本動物行動学会賞 受賞者 (2011年 9月 10日 受賞)

区分 (1) 動物の行動に関する新たな現象の発見

松浦 健二氏「シロアリの単為生殖による女王継承システムの発見とその制御メカニズムの研究」

受賞理由

松浦健二氏はシロアリの社会行動に関し、極めて独創性の高い一連の研究を行っています。松浦氏の特筆すべき業績は、社会性昆虫においてはじめて階級分化フェロモンを同定したこと、保育行動を制御するフェロモンに共生菌が化学擬態している事実を発見したこと、さらに、シロアリの女王が社会環境に依存して仔の発育や有性生殖か無性生殖かという基本的生殖様式までを柔軟に切り変えている事実を発見したことです。これらの成果は、超個体としてのシロアリコロニーが個体に匹敵する適応的ユニットであることを実証したもので、動物の社会行動に対する私たちの理解を大いに深化させるものであると評価されます。

注) 業績の表題について

2013年度以前の日本動物行動学会賞では「業績内容をあらわす表題」の記載・申告が応募時に求められていませんでした。この度の公開 (2016年2月) にあわせて、2010-2012年の行動学会賞については、受賞者ご本人にあらためて表題をつけていただきました。